

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www12.plala.or.jp/hokjioka/> →変更:[www.hokjioka.net](http://www.hokjioka.net) E-mail : [codmokan@agate.plala.or.jp](mailto:codmokan@agate.plala.or.jp)

支援会員・寄金 3,000円 (年額)  
\*会員には、本通信を配布します。



《写真説明》'14.12/18

「クリスマス行事」(2)

教育大釧路校教育内容方法  
研究室中心に13名参加。

教室の柱に枠3段、そこに  
作画したプラスチックをステンド  
風に各面に貼ってライトアップ!!

## INDEX

- P1: 巻頭言/
- P2-3: ヒューマントラスト/  
普及協同活動、15'方針
- p4-5: 防災教室(2)  
～冬の札幌で震災が..  
宿泊・食事・野外体験
- p6: スクール近況
- p7: 札幌学院大の実習
- p8: 時事、カンゲー、他

## 『一つ一つ、少しずつ』

認定NPO法人北海道自由が丘学園 理事 多田 和子

日々の中で思う事や考える事があるけれど忙しさに流されてしまう。

イラクのバッシングの時に知らない国で奮闘している若い人の事を初めて知り、子どもの頃のおとぎ話の世界でしかなかったアラブという国で起こった今回のあまりにも不幸な出来事で、こんなに長い年月にわたって関わり続け国を越えて人とつながり、紛争に巻き込まれた人々の窮地を知らせる活動をしている方々がいるという事を再び痛感しました。

震災と原発事故で未だに取り残された半径20キロ圏内の立ち入り禁止区域に残って、牛にエサをやり続けている『希望の牧場・ふくしま』の事を森絵都(えと)さんという方が、命を守っている人の姿を子ども達に伝えたいと絵本にしました。森絵都さんは、「絵本から原発・家畜・農業・いのち...と色々な事を考えさせられますが、これだと言う答えが見つかるわけでもないですね。」という質問に「それぞれの立場で考えて、答えはそれぞれ違っていいと思います。まず知ってもらおう事かな。」と話していらっしやいました。

自分自身を育んだ力が自分の中にたまった時に、人は自分を変える「誰か」に「何か」に出会えるものだと、ラジオでそんな言葉を耳にしました。何か「これ!」と特別な事でもなく、仕事でも活動でも子育てや介護や家事や、もっと若い方なら勉強や部活や家の手伝いや友だちとの交流や何でも、日常生活の中でも、今、自分の目の前で起こった出来事でも、人がその人らしく自然にあるいは頑張っている姿に出会った時に、私は、今この状況を少しずつ変えて行く力になっている様に思える事が時々ありとても嬉しい気持ちになります。

[p2に続く]